

指定管理者制度導入施設 管理運営状況(令和2年度)

基本情報						
施設名称 (愛称)	滋賀県醒井養鱒場					
HPアドレス	http://samegai.siga.jp/		(建物外観等)			
電話番号	0749-54-0301		 本館、さかな学習館			
所在地	米原市上丹生					
設置目的	養鱒についての調査および技術の普及指導を行うほか、養鱒技術の向上と水産業の振興に寄与するため、一般の観覧に供する。(滋賀県醒井養鱒場の設置および管理に関する条例:昭和39年3月31日滋賀県条例第50号)					
所管	部局	農政水産部				
	課等	水産課				
設置年月	昭和39年3月(明治12年現在地に開設)					
土地	敷地面積	190,127.6 m ²	避難所指定等		—	
	市街化区域	市街化調整区域	防災拠点指定等		—	
	用途地域	—	文化財指定		国指定名勝醒井峡谷	
建物	延床面積	2,807.78 m ²	再生エネルギー等		—	
	取得価額	465,743,812円	自家発電設備		有	
運営	運営方法	指定管理	バリアフリー	障害者用エレベーター	無	
	運営時間	8:30~17:00		多目的トイレ	有	
	休館日	12/28~1/4		オストメイト対応トイレ	有	
駐車台数	200台(指定管理者借用地)		車いす使用者用駐車場		2台	
特記事項 指定管理者:滋賀県漁業協同組合連合会						
施設概要						
名称	主体構造	設置年	延床面積	階数	耐震	備考
本館、研修棟	鉄筋コンクリート造	S62	831.05m ²	2	新耐震	
餌付池上屋(A棟)	鉄骨造	S58	160.53m ²	1	新耐震	
餌付池上屋(B棟)	鉄骨造	S58	209.13m ²	1	新耐震	
餌付池上屋(C棟)	鉄骨造	S61	372.46m ²	1	新耐震	
採卵場	鉄骨造	H4	65.8m ²	1	新耐震	
採卵場	木造	S34	18.14m ²	1	旧耐震	
ふ化場	鉄骨造	H13	225.4m ²	2	新耐震	
親魚養成棟	鉄骨造	H14	220.91m ²	1	新耐震	
作業棟	鉄骨造	S63	156m ²	1	新耐震	
倉庫	鉄骨造	S57	38.46m ²	1	新耐震	
車庫棟	鉄骨造	S63	106.8m ²	1	新耐震	
ポンプ室	木造	H10	3.28m ²	1	新耐震	
フォークリフト車庫	鉄骨造	S62	9m ²	1	新耐震	
排水処理室	木造	H10	23.16m ²	1	新耐震	
正面入場券売場	木造	H7	15.5m ²	1	新耐震	
入場券売場(南)	木造	S57	6.9m ²	1	新耐震	
無料休憩所(せせらぎ)	木造	H3	93.75m ²	1	新耐震	
無料休憩所(六角堂)	鉄骨造	S41	132.83m ²	1	旧耐震	
無料休憩所	木造	S55	7.84m ²	1	旧耐震	
無料休憩所	木造	S55	7.29m ²	1	旧耐震	
あずま屋	木造	H29	9m ²	1	新耐震	
つり池管理事務所	木造	H10	29.1m ²	1	新耐震	
便所	コンクリートブロック造	S37	7.99m ²	1	旧耐震	
屋外便所(見学者用)	木造	S62	27.04m ²	1	新耐震	
公衆便所	鉄筋コンクリート造	H3	23.8m ²	1	新耐震	
バス待合所	木造	H10	6.62m ²	1	新耐震	

指定管理者管理運営状況（平成29年度～令和2年度）

指定管理者管理運営状況

年度	指定管理者	指定管理期間
R2年度	滋賀県漁業協同組合連合会	平成28年4月1日から令和3年3月31日まで
R1年度		
H30年度		
H29年度		

成果情報	H29	H30	R1	R2	備考
利用可能日数(単位:日)	357	354	339	315	R1,R2は、新型コロナウイルスの感染拡大による減
年間利用人数(単位:人)	42,432	46,676	47,100	38,610	
1日あたり利用人数(単位:人/日)	119	132	139	123	
年間収入(単位:円)	12,893,660	14,265,510	14,927,676	12,868,828	
1日あたり収入(単位:円/日)	36,117	40,298	44,034	40,853	

収入・支出実績 (単位:円)	H29	H30	R1	R2	備考
収入①	35,393,715	36,765,564	37,830,599	34,828,869	
施設利用収入	12,893,660	14,265,510	14,927,676	12,868,828	
指定管理料	22,500,000	22,500,000	22,902,883	21,960,000	
その他収入	55	54	40	41	
支出②	36,256,047	36,130,051	46,641,397	38,748,621	
人件費	22,370,997	22,680,336	29,601,601	24,674,551	
施設管理費	941,538	669,312	3,040,573	1,049,839	
事業費	12,943,512	12,780,403	13,999,223	13,024,231	
収支 ①-②	-862,332	635,513	-8,810,798	-3,919,752	

モニタリング実施状況(令和2年度)

報告書の別	
年度報告	年次事業報告書(令和3年4月報告)
月例報告	月例業務報告書(毎月報告)
実施調査	令和2年7月、令和3年1月実施

利用者ニーズの把握

手法・実施時期	令和元年度(4月～3月) ※令和2年度は新型コロナ感染症の影響により実施せず。
実施内容	来館者へのアンケート調査
調査結果	<ul style="list-style-type: none"> ・来場者の48.9%が県外からの来場である。 ・施設利用満足度5段階の内、満足度5、4、3が93.5%(5、4は78.1%) ・施設への来場きっかけの46.3%が魚釣りであり、良かった施設の1位がエサ釣りコーナー、第2位は餌やり体験である。 {アンケートの声} ・自分が子どもの頃から来ていて、子どもたちにも自然の中で魚釣りやエサやりなどを体験させることができる貴重な場として利用できる。 ・廃墟の撤去をお願いしたい。景観を損ねている。 ・最寄りの駅からの交通の便が悪い。

工夫・成果のあった点、運営上の課題

・立地条件から施設と設備の老朽化が進行しやすく、修繕・更新は一定行っているもののすべてに手が回っていない状況にある。

・ピワマス養殖の振興に向けて、成熟して肉質が劣化しない全雌三倍体種苗の生産および養殖業者への提供を担っているところであるが、さらに効率的な生産を目指して、全雌二倍体種苗の提供も併せて開始した。

・ます祭り等のイベント開催やマスを活用した多くの自主事業を展開し、HPでの情報発信やチラシ・広報誌による広報に努めている。来場のきっかけの半分近くが魚釣りと食体験であり、釣場事業の運営が来場者の満足度に大いに反映している。

・冬季は来場者がほとんどない状況であったが、湧水を生かしたルアー釣り場運営により、冬期にも釣り人が訪れる状況となった。特にルアー釣り大会は人気がある。

・休憩所に厨房施設を設置したことにより、イベント開催時や学校等の団体客利用時に食品(食事)を提供できるようになり、利用者へのサービス向上につながった。

・場内に廃業した民間の店舗が残っているが、経年劣化も進んでおり、来場者から景観を損ねているとの指摘も受けている。所有者と話し合いを行い、撤去に向けた取組に努めている。